

# 協働推進モデル事業計画書

※記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。  
ただし、この企画書はA4サイズ6ページ以内で作成してください。

提案者	提案団体名	くらしのたね (担当者名 青江 整一)					
	合同提案団体 (協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)	操車場跡地にできる新公園を活用する市民の会					
	協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名	庭園都市推進課		電話	086-803-1395	
		担当	氏名	宮内 和志		職名	係長
			氏名			職名	
		課名			電話		
担当	氏名			職名			
	氏名			職名			

※以下、箇条書きなどによりできるかぎり簡潔に記載してください。

## (1) 事業の目標

①解決を目指す社会問題 または実現を目指す理想	新公園に関わる関係者が協働してマネジメントするパークマネジメントが導入されるとともに、周辺施設との連携も図られる。
↑	
②約3年後に実現を目指す社会や対象の状況	市民の会をはじめとした市民が関わって活用の動きが定着している。
↑	
③約2年後に実現を目指す社会や対象の状況	パークマネジメントの準備会での議論が進むと共に、市民の会として活用の取り組みが自主的に動いている。
↑	
④1年後に実現を目指す状況	パークマネジメントの理解が進み、パークマネジメントの準備会ができている。 市民の会の活動が認知され、市民から公園活用の取り組みを自主的に活動できていて、それが発信されている。
⑤「④」の実現を阻む要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークマネジメントの必要性や役割の理解不足</li> <li>・パークマネジメント導入にあたっての課題や活用の際に必要な事項に関するデータ不足</li> <li>・参加する市民のニーズ（市民の会への参加者など）不足</li> </ul>
⑥「⑤」を示す情報又は仮説（調査結果、当事者の声、他地域との比較など）	2016年に実施した調査及び2017年に実施した市民の会立ち上げに関する会でのワークショップでも公園活用に関わりたい市民が多かった。私たちはその方たちを巻き込んで実証実験を行う。そして、実際に公園を使うとどういう問題が起きるか事例を集める。

## (2) 本事業の内容

(要因)

1. 新公園の利害関係者の中でパークマネジメントへの理解が進んでいない。
2. 新公園でのパークマネジメントの準備会ができるにあたって事例がない。

(事業)

1. 公園の活用に関する具体像としての市民主体の取り組みモデル実施（実証実験）

○キックオフ：2018年5月27日（日）

○報告会：2018年11月頃（収穫祭）

### A. 子ども達の日常的な居場所になる公園のためのモデルプロジェクト

●趣旨：子どもが様々な年齢の人とコミュニケーションをとりながら、トライ&エラーが体験できる場を親や地域住民が共に作る。

5月イベントでは、何もない所に、外部講師と子ども、地域住民が、竹や木材を使って遊具をつくり、子どもが思う存分体を動かして遊ぶことのできる場づくりに挑戦する。

月1回の遊び場開催では、子どもが土や水、木等の身近な自然の素材を使って遊べる場を作る。

農園でできた野菜を利用して、自分たちで火を使って炊き出しを行うなど、「食」をテーマに、大人も集う場を作っていく。これらの遊び場づくりを通して、子どもが遊び育つ場、大人が「食」を通して集い、育つ場を作っていく。

●実施内容：プロジェクトCと連携し、畑で採れた野菜を使って簡単な調理をし、みんなで食べる。また、地形や自然の素材を利用して、子どもたちを中心に自由に遊べる場をつくる。

1 火を利用して・・・火起こし、焼いてみる体験、調理

2 地形や伐採した樹を利用して・・・遊具づくり、土や水、木を使った遊び等

3 大人が集える場...カフェや炊き出し

⑦「⑤」の中から  
本事業で解決を目指す  
要因と事業の内容

### B. 健康寿命を延ばし市民のQOLを高めていく公園のためのモデルプロジェクト

●趣旨：岡山の平均寿命は男性81.03（全国13位）女性87.67（全国2位）だが健康寿命は男性71.10（全国41位）、女性73.83（28位）である。

岡山は人口に対して総合病院の数や質は全国でもトップレベルである。しかし、健康寿命をみてみると不健康になる前の予防や健康に対する知識の習慣まだまだ足りていないのが現状である。

そこで公園という誰もが使うことができるオープンな場所を利用してそこに行けば誰かがいて健康に最適な運動や知識を共有できること、また仲間とのコミュニケーションをとるだけでも元気になれる公園づくりをして市民のQOLを高めていく。また健康な方にだけ目を向けるのではなく、病院に通院・入院されている方にも参加してもらえるような公園づくりを行う。

●実施内容：特別な道具がなくても簡単で誰もができる運動で継続して行えるもの  
ポイント  
・みんなで協力してできる参加型のイベント  
・公園に行くだけで健康の知識が学べる環境づくり  
・毎回新たな発見ができるようにすること  
・健康に興味ない方を呼べるような内容であること

具体例  
・みんなでラジオ体操、ヨガ、太極拳など  
・カロリー減を体験しよう...ウォーキング、ランニング、なわとび等  
・歯の健康...磨き残しチェック、歯磨き粉づくり等

### C. 育てる喜びを共有する協働農園のためのモデルプロジェクト

●趣旨：市民が自然の摂理に学びながら協働農園を育てていく中で、収穫の喜びを実感するなど一人一人の生きる力や環境に対する責任を養い、そして多様な人々が食事を共にして交流し地域の顔が見える関係性をうみだす。

●実施内容：公園になる前の操車場跡地を活用した農園活動

毎週土曜 10:00~12:00 野良仕事

毎月第4土曜日 13:00~15:00 研究&デザイン

5月 土壌の研究 講師：四井真治（ソイルデザイン）

	<p>6月 水利用の研究 講師：加藤禎久（岡山大学）</p> <p>7月 植物（種）の研究 講師：佐々木竜也（ワッカーファーム）</p> <p>8月 農園デザイン① 「コンセプトワーク」</p> <p>9月 農園デザイン② 「具体的なアイディア出し」</p> <p>10月 農園のデザイン③ 「全体の配置計画」</p> <p>●実証実験での取り組み</p> <p>5月27日 野良仕事（さつまいものつるの定植、じゃがいもの追肥、土寄せ）</p> <p>11月 収穫祭（振舞い料理：焼き芋とポテトチップス）</p> <p>●栽培予定作物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいも</li> <li>・じゃがいも</li> <li>・その他共生植物として、マリーゴールド、バジル、エダマメなど</li> </ul> <p>●備考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板による情報発信を検討</li> </ul>
⑧事業の有効性を示す根拠（当事者のニーズ、他地域の成功事例など）	市民の会員が37人いるなど、公園の活用に関わりたい市民は多くいるがその機会が提供されていないため、今回の取り組みがその実現へとつながる、また、こうした取り組みの先進事例として、兵庫県立有馬富士公園などがある。
⑨提案事業の成果を測定する指標（定量・定性の両方またはいずれか）	パークマネジメント準備会の立ち上げに必要な理解度の変化。 モデル事業に関する市民の多様性と人数、その個々の満足度や公園への参加の意欲変化のデータ。 参加者に対するデータ。

### （3）協働の必要性和実施体制

	提案団体	担当課
事業の役割分担	勉強会の企画、運営。 市民主体のモデル実施の企画、運営。	関係者の調整。 市民主体のモデル実施の利用許可調整、関係者調整。
役割分担の理由 （それぞれが持つ経験、実績、情報、当事者性など）	市民の会には、操車場跡地の一画で、草刈りや清掃活動等の保全を継続して実施している人や地域住民により関心を持ってもらうために広報活動やアンケートを実施した人、地域での人脈が強い人など、様々な市民が関わっている。それらの実績をもとに、市民目線での活動を作り、また地域に広げていく。	・新たな場所の使用となるので、行政内での関係各課との調整をする。 ・西川緑道公園の活用では、日本でも注目を浴びている「満月バー」やホコテン、西川パフォーム事業等々、市民と共に活用されている実績がある。広い視点やこれまでのノウハウを活かす。
協働効果を高めるための工夫（目的や情報共有の方法など）	市民と行政担当者が一つのテーブルで、情報共有や意見交換を行うことが大切で、それを積み重ねていく。また、実証実験を通して参加者の数や公園の活用を通して、課題点や必要な力をデータとして集めふりかえりを丁寧に行っていく。	

	名称	役割
その他に連携が必要と思われる対象と期待する役割（あれば記載）	①大和リース株式会社	①エリアマネジメント

#### (4) 事業スケジュールについて

※自由に枠を追加・結合・分割してご記入ください。

時期	実施内容など	詳細	
5月	上旬	実行委員会開始	
	中旬		
	下旬	(農園) 毎月第4土曜日 13:00~15:00 研究&デザイン  (全体) 公園の活用に関する具体像としての市民主体の取り組みモデル実施(実証実験)	(農園) 土壌の研究 講師:四井真治  (農園) 野良仕事(さつまいものつるの定植、じゃがいもの追肥、土寄せ) (子ども) 自然の素材を使って遊び場をつくる、野良仕事をやってみる。 (健康) 体操
6月	上旬	[定期活動] (農園、子ども) 毎週土曜日 10:00~12:00 野良仕事	(農園、子ども) 水やり、追肥、草抜き、観察
	中旬		
	下旬	(健康) 健康研究会 (農園) 毎月第4土曜日 13:00~15:00 「研究会&デザイン」	(健康) 体操について (農園) 水利用の研究 講師:加藤禎久
7月	上旬	[定期活動] (農園、子ども) 毎週土曜日 10:00~12:00 野良仕事	(農園、子ども) 水やり、追肥、草抜き、観察
	中旬		
	下旬	(健康) 健康研究会 (農園) 毎月第4土曜日 13:00~15:00 「研究&デザイン」	(健康) 歯について (農園) 植物(種)の研究 講師:佐々木竜也
8月	上旬	[定期活動] (農園、子ども、健康) 毎週土曜日 10:00~12:00 野良仕事	(農園、子ども、健康) 水やり、追肥、草抜き、観察
	中旬		
	下旬	(健康) 健康研究会 (農園) 毎月第4土曜日 13:00~15:00 「研究会&デザイン」	(健康) 体操について (農園) 「コンセプトワーク」
9月	上旬	[定期活動] (農園、子ども、健康) 毎週土曜日 10:00~12:00 野良仕事	(農園、子ども、健康) 水やり、追肥、草抜き、観察
	中旬		
	下旬	(健康) 健康研究会 (農園) 毎月第4土曜日 13:00~15:00 「研究&デザイン」	(健康) ウォーキング (農園) 「具体的なアイディア出し」
10月	上旬	[定期活動] (農園、子ども、健康) 毎週土曜日 10:00~12:00 野良仕事	(農園、子ども、健康) 水やり、追肥、草抜き、観察
	中旬	(全体) 報告会&収穫祭の広報活動開始	(全体) チラシ配布

	下旬	(農園) 毎月第 4 土曜日 13:00~15:00 「研究&デザイン」	(農園) 「全体の配置計画」
11月	上旬		
	中旬	(全体) 報告会&収穫祭	(全体) 報告会 (5月~10月までの活動報告) (全体) 収穫祭 (農園) 収穫作業、炊き出し (子ども) 収穫作業、炊き出し (健康) 収穫作業、体操、健康講座
	下旬		
12月	上旬	ふりかえり会の実施	
	中旬		
	下旬		
1月	上旬	次年度に向けた検討会議	
	中旬		
	下旬		
2月	上旬	次年度準備の開始	
	中旬		
	下旬		

#### (4) 次年度以後の事業展開

<b>次年度の事業展開</b> <small>(「約2~3年後に実現を目指す社会状況のイメージ」をふまえて)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡山市の一般施策としてより安定的かつ広範囲に展開していくことを目指す。</li> <li>・ 提案団体の自主事業として収益を得て継続・拡大していくことを目指す。</li> <li><input type="checkbox"/> 市民協働推進モデル事業として事業を継続しつつ、次々年度の一般施策化へ備える。</li> <li><input type="checkbox"/> 市民協働推進モデル事業として事業を継続しつつ、次々年度の自主事業化へ備える。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>
	<b>具体的な事業の目標</b>
	<p>パークマネジメントの準備会が立ち上がる。 市民の会の活動が認知され、市民から公園活用の取り組みを自主的に活動できている。</p>
	<b>具体的な事業の内容</b>
	<p>1, パークマネジメントの準備会として市民の会を中心に関係する人たちが入って公園の活用を話し合っている 2, 市民の会の仲間が増えて仲間たちによって公園活用の取り組みが進んでいる</p>

(様式第3号)

協働事業収支予算書

提案事業名	岡山操車場跡地にできる新公園を市民の手で活用していくためのモデル実施事業
-------	--------------------------------------

<収入>

費目	金額	内訳
自己資金等		
申請団体自己資金	36,250	
合同提案団体負担金等	150,000	会費 (1,000円×150人)
自己資金合計 (a)	186,250	
事業収入		
参加収入	100,000	500円×100人×2回
事業収入合計 (b)	100,000	
岡山市補助金申請額 (c)	1,145,000	
収入合計 (d) = (a) + (b) + (c)	1,431,250	

<支出>

費目	金額	内訳
(子ども)		
報償費	40,000	外部講師 @40,000×1人×1回 (遊び場づくりの講師)
	40,000	外部講師 @20,000×1人×2回 (遊び具づくりの講師)
宿泊交通費	40,000	外部講師 @40,000×1人×2回 (遊具づくりの講師)
消耗品費	63,350	ブルーシート 9,000円、ロープ 9,000円、スコップ 9,000円、木材 17,000円、工具 5,000円、七輪他 5,350円、救急用品 4,000円、文具 5,000円
(農園)		
報償費	60,000	学習会講師@20,000×3回 (四井氏、加藤氏、佐々木氏)
旅費交通費	70,000	学習会講師@40,000×1回、他事例の視察交通費 30,000円 (富山の農園のある公園)
消耗品費	120,800	木材 (20,000円)、苗木 (28,000円)、貯水タンク (18,000円)、バケツ (1,800円)、柄杓 (1,800円)、ジョウロ (1,800円)、ネコ (7,800円)、スコップ (1,800円)、ハサミ (1,800円)、肥料 (28,000円)、収穫祭時料理備品 (10,000円)
事業実施経費		
通信運搬費	10,000	荷物の運搬@5,000円×2回
(健康)		
報償費	80,000	外部講師 @20,000×2人×2回
賃貸料	10,000	広報用ボード、文具他 10,000円
(全体)		
委託料	320,000	チラシ制作・印刷 (80,000部) 費 (デザイン費含む) 140,000円×2、イベント撮影 20,000円×2回
報償費	40,000	報告会&収穫祭 外部講師@40,000円
宿泊交通費	40,000	報告会&収穫祭 外部講師@40,000円
賃貸料	5,000	会議室借料@5,000
保険料	10,000	イベントでの保険料 5,000円×2回
食糧費	22,100	会議用お茶@1,300円×17回
事業実施経費合計 (e)	971,250	
管理運営経費		
事務担当者人件費	320,000	1,000円×4時間×40日×2人
農園管理人件費	120,000	1,000円×2時間×30日×2人
印刷製本	20,000	資料印刷など
管理運営経費合計 (f)	460,000	
総事業費 (g) = (e) + (f)	1,431,250	

(添付書類等)

- ① 人件費等については、積算の根拠（これまでの実績や独自の単価表）を添付すること  
 ② 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること

(様式第4号)

団体の概要書

団体名	(ふりがな) ぐらしのたね ぐらしのたね						
所在地	〒700-0976 岡山市北区辰巳 14-101						
代表者職・氏名	(役職) 世話人	(ふりがな) あおえ せいいち (氏名) 青江 整一					
事業担当者	(役職) 世話人	(ふりがな) あおえ せいいち (氏名) 青江 整一					
	電 話	086-246-1188			F A X	086-246-1644	
	E-mail	shiminnokai.renraku@gmail.com					
活動開始年月日	平成 22	年	9	月			
活動期間	7	年	6	か月	(平成30年3月末日現在)		
設立年月日	平成 22	年	9	月			
団体の目的	住環境の改善、向上及び脱構築						
主な活動(事業)	空家・放棄地対策 子育て支援 ワークショップ開催 防犯・防災パトロール						
組 織	正会員数		11 人		賛助会員数		人
	役員数	3 人	職員数	常 勤	人	内 有 給	人
	内 有 給	人		非 常 勤	人	内 有 給	人
主な活動地域				会員の入会条件			
事業の規模 (実施回数)	<input type="checkbox"/> ほぼ毎日		<input type="checkbox"/> 毎週 1 回		主な対象者		
	<input type="checkbox"/> 毎月 回		<input type="checkbox"/> 年 回		参加者数(年間延べ)		4,000 人
団体の財政状況	経常収入 経常収益	会費	240,000 円	事業収入	1,016,275 円	収入合計	1,256,275 円
		寄付金	円	その他	円		
	経常支出 経常費用	事業費	1,256,275 円	管理費	円	支出合計	1,256,275 円
		管理費	円				
資産・負債	資産	円	負債	円	正味財産計	円	
広報関係の有無	会報・広報誌		<input type="checkbox"/> 有 (年 回発行)				<input type="checkbox"/> 無
	ホームページ		<input type="checkbox"/> 有 (URL : <a href="http://www.kurashinotane.jp/">http://www.kurashinotane.jp/</a> )				<input type="checkbox"/> 無
	ホームページで公表している情報にチェックを入れてください。						
<input type="checkbox"/> 事業報告		<input type="checkbox"/> 決算書		<input type="checkbox"/> 活動状況		<input type="checkbox"/> その他 ( )	
過去の協働事業や 助成金、委託を受 けた実績(企業や大 学に ついては公益活動に ついてのみ記載)	平成 26 年度 岡山 ESD 推進協議会 ESD 助成金 70,000 円 平成 27 年度 岡山 ESD 推進協議会 ESD 助成金 70,000 円 平成 28 年度 岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 500,000 円 平成 29 年度 岡山市市民協働推進モデル事業 200,000 円						

※所属する法人・団体毎に記載してください。組織・財政状況等は前年度末時点のものを記載してください。(該当しない部分は空白で結構です。)

※次の資料を添付してください。①役員名簿 ②団体の定款・規約・会則等 ③前年度活動報告及び活動(収支)計算書 ④その他団体の内容がわかる資料